第 1 講 【古代編】世界の古代文明

PART6 中国の古代文明

Chapter1　黄河文明

目標　東アジアの地形や気候の違いが各地域にどのような影響をもたらしたか。
黄河文明の特徴を知ろう。

1　東アジアの地形と気候

二大河流域を中心とするユーラシア大陸東部と沿岸の島々。

①淮河以北の［　　　　］流域（［　　　　］）

A　冷帯から温帯に属する降水量が少ない気候

B　黄河中流域は内陸部の高原・砂漠から風で運ばれた土が堆積した肥沃な**黄土地帯**（台地）

→**畑作**中心

②淮河以南の［　　　　］流域（**華中・江南**）

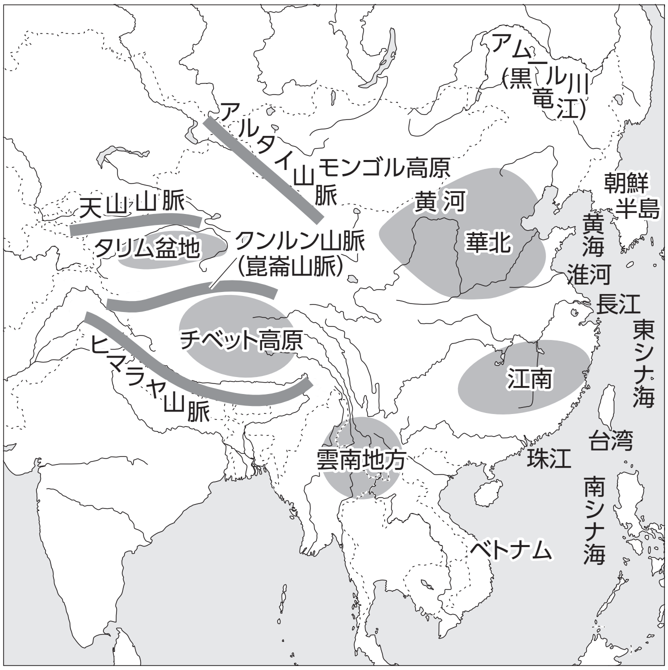
温帯の季節風（モンスーン）に影響される湿潤な気候

→**稲作**中心

③モンゴル高原・チベット高原

遊牧地帯。タリム盆地の砂漠で点在するオアシスで灌漑農業が行われる。東アジアと隣接する地域では，多様な自然環境によりさまざまな文化が生み出された

→活発な人の移動・交流



東アジアの地形図

2　黄河文明

前 6000 年頃　黄河流域にアワ・キビなどの**雑穀**をつくる農耕がはじまる

→豚・犬・牛などの家畜の飼育や，半地下式の竪穴住居の形成

前 5000 年頃　黄河中流域に〔　　　　　〕文化がおこる

→明るい色彩の〔　　　　　　　　　〕(**彩陶**)

前 3000 年頃　黄河中・下流域に〔　　　　　〕文化が出現

→実用的な灰陶と薄手の〔　　　　　〕(**黒色土器**)

※三足土器はのちの青銅器の形に繋がる。

長江文明

黄河文明と同時期，長江流域で〔　　　　　〕が定着

遼河流域でも狩猟・採集と合わせて雑穀の栽培が行われ，新石器時代がはじまった

※前 2000 年頃と考えられている三星堆遺跡（四川省）など，近年，発掘・研究が進んでいる。

→各地で独自の文化のおこり。ヒト・モノの移動と交流が活発になり，集団での争いや首長の誕生に繋がる

黄河文明の分布図

まとめ

肥沃な黄土地帯の黄河流域では畑作，湿潤な気候の長江流域では稲作が盛んだった。

仰韶文化では彩文土器が用いられ，その後おこった竜山文化では黒陶が用いられた。

Chapter2　周の封建制

目標
殷王朝で行われた政治の特徴を知ろう。
周王朝の封建制とはどのようなものであったか。

1　殷王朝の特徴

前 2000 年頃　黄河中・下流域に氏族集団を中心とし，城壁を巡らせた大規模な
〔　　　〕（都市）が出現
→有力な**大邑**（都市国家）へと成長

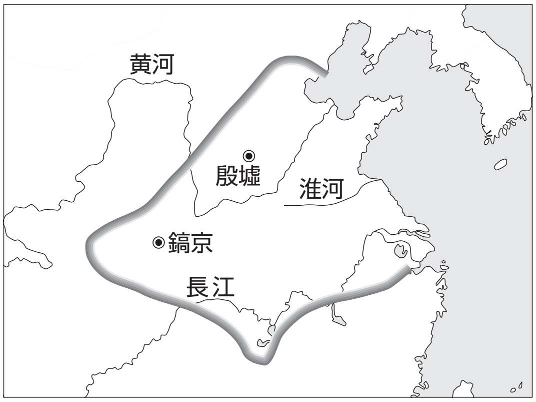
前 1600 年頃　大邑の連合組織（邑制国家）として，最古の王朝〔　　　〕（商）が誕生
※伝説では中国最古の王朝は**夏**とされるが，事実関係はわかっていない。

①王朝後期の遺跡である〔　　　　〕が発掘される
→豊かな経済力を持つ〔　　　　　〕**文明**
→青銅器は祭祀や武器として用いられた

②漢字のもととなった象形文字である〔　　　　　　　〕が発見・解読される
→重大な決定や予測は甲骨により神の意志を占う神権政治により行われた

甲骨文字

2 周王朝の封建制



周の勢力図

前 11 世紀　西方の渭水流域におこった〔　　　〕が殷を滅ぼす

①都を**鎬京**（現在の西安市）とし，新たに洛邑（現在の洛陽市）を建設

②思想

徳の高い者には天から支配者となる命令が下るとする〔　　　　　　〕政治

③制度

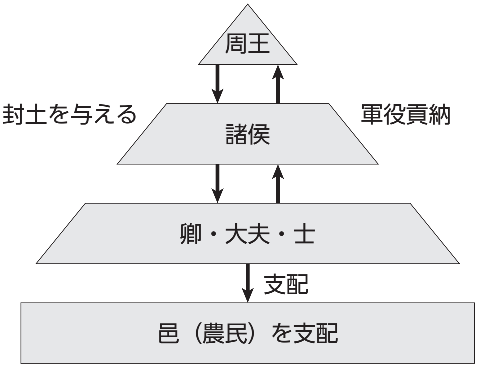
封土⇔**軍役**・**貢納**の義務で支配する

〔　　　〕制度

A　王一族・功臣，有力氏族の首長に封土（領地）を与えて世襲の**諸侯**とする

B　王や諸侯は家臣に**卿**・**大夫**・**士**の身分と封土を与える

→王・諸侯・家臣はそれぞれ**血縁関係**を結ぶ



封建制度

C　氏族集団宗族の結束を固めるために定めた規範：〔　　　〕

D　王と諸侯，諸侯と家臣など，社会の上下関係を律する行動規範：〔　　　〕

→以降の東アジア社会に大きな影響を与える

まとめ

殷王朝は，国の重要な出来事は神意を問う占いで決定される神権政治であった。

封建制とは，周王が諸侯に封土し，諸侯は周王に軍役するもので，血縁関係が重視された。

第 1 講　PART6　確認問題

1 中国の淮河以北の黄河流域はどこか。

① 華北　② 華中
③ 華南　④ 華東

2 中国内陸部の高原や砂漠から風で運ばれた土が堆積した黄河中流域の地帯を何というか。

① 三日月地帯　② デルタ地帯
③ 扇状地　④ 黄土地帯

3 前 6000 年頃には淮河以南の長江流域で栽培されるようになった穀物は何か。

① アワ　② ヒエ
③ 稲　④ トウモロコシ

4 前 3000 年頃に出現した，実用的な灰陶と薄手の黒陶に代表される後期の黄河文明を何というか。

① 仰韶文化　② 竜山文化
③ 紅山文化　④ 三星堆文化

5 前 1600 年頃に黄河中流域に成立した，現在確認される中国最古の殷王朝の遺跡を何というか。

① 夏　② 邑
③ 殷墟　④ 兵馬俑

6 殷王が占った神意を記録するためにつくられた象形文字は何か。

① 楔形文字　② 神聖文字
③ インダス文字　④ 甲骨文字

7 渭水流域におこり，前 11 世紀頃に殷を滅ぼした王朝は何か。

① 斉　② 晋
③ 秦　④ 周

8 周王が一族や功臣，有力氏族の首長に封土を与えて諸侯とし，国を統治した制度は何か。

① 中央集権制　② 封土制
③ 封建制　④ 世襲制

第 1 講　PART6　確認問題 解答

1 解答：①　淮河以北の黄河流域を**華北**といい，早くから雑穀を中心とする農耕がはじまっていた。

2 解答：④　中国内陸部の高原や砂漠からの土が風によって堆積した地帯は**黄土地帯**である。

3 解答：③　淮河以南の長江流域（華中）では，湿潤な気候を利用して**稲**が栽培されるようになった。

4 解答：②　**竜山文化**は黄河中・下流域に広がった新石器文化で，実用的な灰陶と薄手の黒陶に代表される。

5 解答：③　殷王朝の遺跡を**殷墟**といい，出土品から殷が広い地域と交易していたことが判明している。

6 解答：④　**甲骨文字**は占いの結果を亀の腹甲や獣骨に刻んだ象形文字で，漢字のもととなった。

7 解答：④　**周王朝**は殷を滅ぼし，政治思想や支配体制，社会行動規範などがその後の東アジア社会に大きな影響を与えた。

8 解答：③　**封建制**は，世襲の諸侯に封土と農民を与えて支配させ，国軍に参加する軍役や特産物を貢納する義務を課す支配体制。